

令和5年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区立入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 児童の関心が高まる話題から学習を展開したり、授業中に声をかけたりするようにしたこと
で、授業中は主体的に学習することができている。
- ・ ゲーム活動などを通して楽しみながら取り組むことで、簡単な語句の意味を理解することが
できている。

(2) 課題

- ・ アルファベットを読んだり書いたりする学習に繰り返し取り組んでいるが、書くことの習熟
が十分ではないので授業の仕方をさらに工夫していく。
- ・ 英文を作る問題に課題がある。授業の中で英作文を書く活動を意識的に取り入れる等工夫し
ていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第6学年	正答率 +0.1 ポイント	正答率 -2.0 ポイント	

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
目標値を 2.7 ポイント上回った。アルファベットを読む学習は、低学年より継続して行ったので、正答率が上がった。	目標値を 4.6 ポイント下回った。英作文の問題では正答率が低い。	目標値を 10.4 ポイント下回った。無回答が多く、最後の問題まで解ききれなかった児童が多くいた。

3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
アルファベットを書くことに慣れさせる。 読むことと書くことを関連付けて学習し、定期的に習熟を確認することで発音の仕方と書き方に慣れさせる。	学習したことを使えるように活動の仕方やワークシートを工夫する。 活動の目的や場面、状況等を明確にしたり、ALTとパフォーマンステストをしたりして、相手意識をもった会話や伝え合いができるようにする。	読むことと書くことを関連付けて学習したり、ゲーム活動をしたりして楽しみながら主体的に取り組めるようにする。 テストの形式に慣れる学習活動を取り入れる。